

平成23年4月26日

御殿場線・身延線の配電線等改良について

東京電力の給電エリア内にある当社在来線のうち、御殿場線と身延線の一部区間については、電車の運行用の高圧の電力は当社の変電所から供給しているのに対し、踏切関係の低圧電力は、一般家庭と同様に市中の配電網から直接受電しています。

このため、計画停電が実施された場合には踏切への電力供給が断たれることとなり、一部の区間で停電時間帯における運転見合わせを行っていました。

この運転見合わせを極力解消するため、踏切のバッテリー増強や、電源系統の変更を行い、計画停電時においても、出来る限り踏切の電源が確保できるように改良します。

今夏の計画停電がいつどのように行われるかは未だ不明ですが、東京電力に極力電力の確保をお願いするとともに、今回の措置を出来る限り早期に手当てし、運転を見合わせる区間や時間帯を極力少なくしてまいります。

○工事概要

(1) 工事内容 (別紙1)

線路沿いへの配電線の敷設、一部踏切のバッテリーの増強などを行い、踏切の電源を確保します

(2) 施工区間

- ・ 御殿場線 (足柄～御殿場間)
- ・ 身 延 線 (西富士宮～身延間)

※ 7月～8月に稼働予定

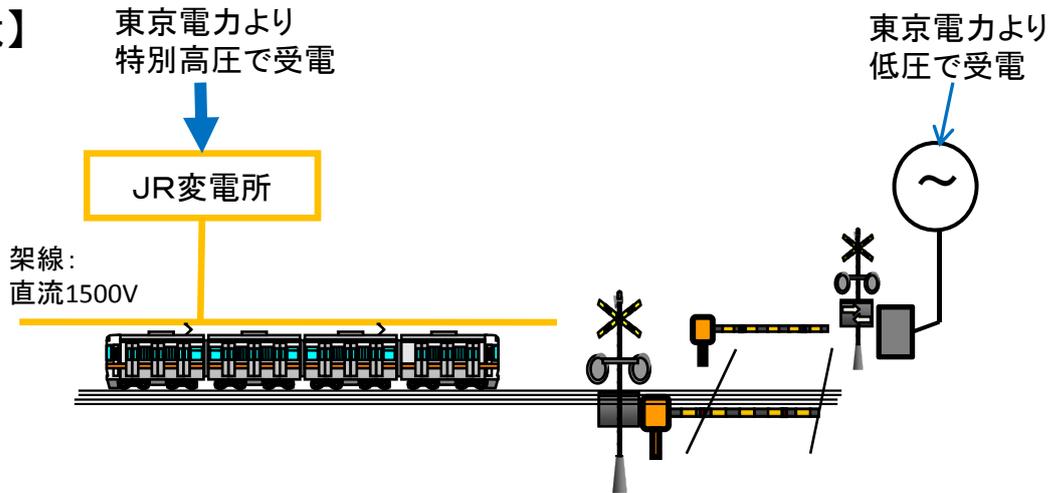
(3) 工事費

約3億円

御殿場線・身延線の配電線等改良(イメージ)

別紙1

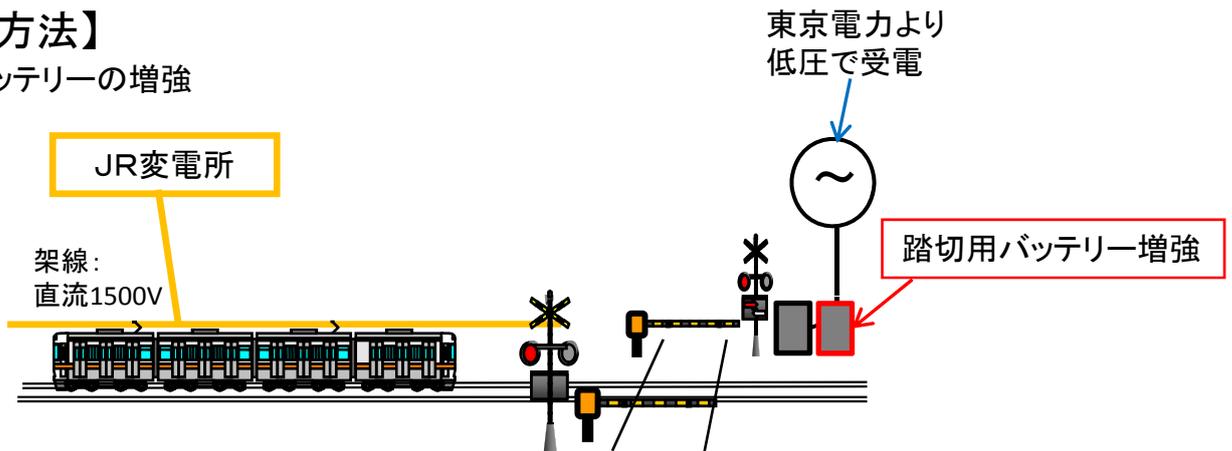
【現状】



身延線の一部と御殿場線では、踏切の電線は市中電源からのため、計画停電が実施されると、当社の変電所に電力供給されても、踏切には給電されない。

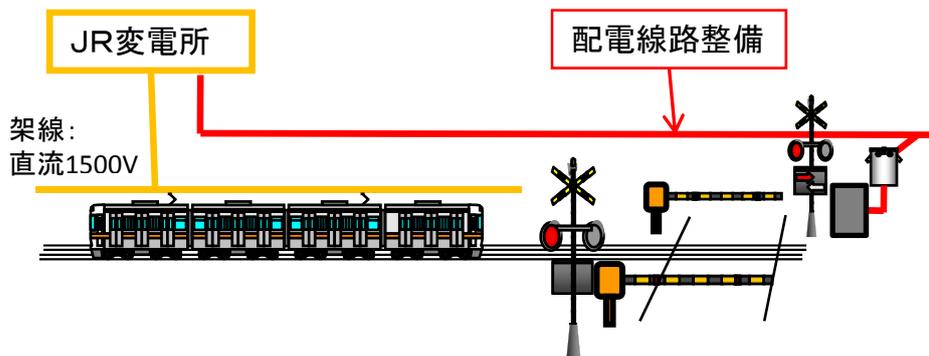
【改良方法】

(1) バッテリーの増強



踏切用バッテリーを増強することで、計画停電時におけるバッテリーの劣化を防ぐ。

(2) 電源系統の変更



配電線を新設することで、JR変電所から踏切に給電